



宮城県業務説明会 水産

Miyagi
Prefectural
Government

水産職の仕事

水産業の振興、水産物の流通、担い手の育成、
漁場環境の調査、技術開発等の試験研究等

配属先

本庁各課
地方機関

（地方振興事務所、水産技術総合センターなど）

自己紹介 石川県出身

R3.3月 **東北大学大学院卒業**

R3.4月～ **水産林政部 水産技術総合センター
気仙沼水産試験場**

定期的な海洋環境・プランクトンモニタリング調査、高水温耐性ワカメ種苗開発の取組等

R7.4月～ **水産林政部 水産業基盤整備課 養殖振興班**

環境変動に対応するための取組支援、養殖漁場の利用に関する計画など

志望動機

なぜ公務員だった？

現場に直接貢献できると思ったから

なんで宮城県庁を選んだ？

宮城の大学で宮城の海について学び、その面白さを
知ったから

担当した仕事

水産技術総合センター 気仙沼水産試験場

漁場環境の調査や貝類・藻類の養殖・
種苗生産の研究をしています

担当業務

- ・ 海の水温や栄養、プランクトンなどの定期調査
- ・ 高水温に強いワカメ種苗の開発試験



担当した仕事

水産業基盤整備課 養殖振興班

養殖漁場の保全や水産公害対策、
養殖業の振興に関わる業務をしています。

担当業務

- ・ 貝毒による二枚貝等出荷規制通知の発出
- ・ 環境変動対策を支援する補助事業の実施



イワガキ



トリガイ

大変だったこと

県民（漁業者）の期待が大きく、プレッシャーがある

特に最近は環境変動が著しく、環境調査の結果や、高水温に強い種苗などへの関心が高まっています。

現場からは「この問題どうにかしてくれ！」との要望を受けることが非常に多く、応えようとするのが大変です。

現場では、漁業者さんとじっくり話し合う機会も多かったです→



やりがい、心掛けていること

プレッシャーも裏を返せばやりがい？

何気ない会話の中からヒントを探してみる

1日のスケジュール（試験場）

8:30 出勤

9:00
環境調査に出港

12:00
帰庁・昼休み

13:00
飼育生物の管理

15:00
ワカメ胞子の培養

17:15 退勤

1日のスケジュール（本庁）

8:30 出勤

9:00 各所との調整、
事務作業等

12:00 昼休み

13:00
昼休み終了

15:00
貝毒検査結果判明

16:00
通知発出

17:15 退勤

入庁前のイメージとギャップ

公務員って研究もするの？

入庁前は正直なところ、県職員が試験研究をしているイメージは全くありませんでした。

現場に近い分課題を見つけやすく、解決策もフィードバックしやすいのは大学とも違っていいところです。



私の公務員試験対策

筆記試験は数的処理を中心に

面接は力を抜いて、飾らない方がうまくいく

みなさんへのメッセージ

一口に県職員の仕事といっても業務の幅は案外広く、
フィールドワーク・デスクワークの両方を経験します。

きっと自分に合うフィールドがあると思いますので、ぜひ受験
を検討してみてください。

みなさんと働けるのを楽しみにしています！

